

手話を世の光に ～手話言語条例がめざす まちづくり～

平成29年7月22日

「愛知県聴覚障害者協会 西三河学習会」

明石市長 泉 房穂

弁護士・社会福祉士

はじめまして！

明石市長 泉 房穂(いずみ ふさほ)

- 1963年 明石市生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長（現在2期目）
- 全国手話言語市区長会 事務局長
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

明石市のご紹介

子午線上に建つ
明石市立天文科学館

歴史のまち

明石城はさくらの名所

時のまち

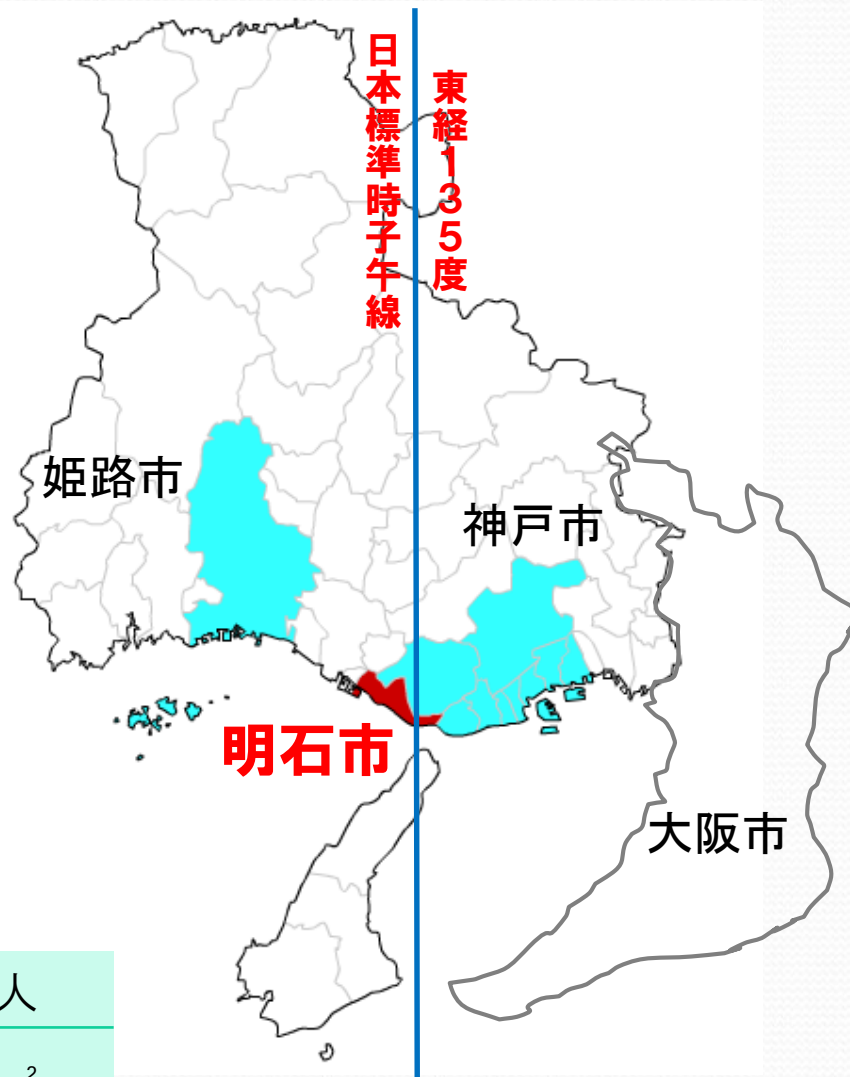
世界最長
明石海峡大橋

海のまち

愛されるブランド
明石鯛

明石たこ大使 さかなくん

© 2015 ANAN and Tm.



人口	約 29万人
面積	約 49 km ²

背中の明石焼オブジェは
明石ろうあ協会黒田会長制作

2016年B-1グランプリ
スペシャルで優勝！



明石市議選

全国初ろうあ議員誕生

「当事者の声 行政に」

26日に投開票された明石市議選で、生まれつき耳が聞こえず、話せない明石ろうあ協会役員の家根谷敦子(55)が初当選した。全国ろうあ連盟(東京)によると、耳がまったく聞こえない議員は県議や国会議員も含め全国初。家根谷さんは「障害がある人にもない人にも住みやすい町を目指したい」と意気込む。(1面参照)

家根谷さんは兵庫県立神戸聾学校(現神戸聴覚特別支援学校)高等部を卒業後、市内の工場勤務を経て同協会に所属し、聴覚障害者の悩みを市の担当者に

「障害のある当事者の声を議員として行政に届けたい」と市議選に立候補。選挙戦では取り次ぐ相談員や手話教室講師を務めてきた。取次ぐ相談員や手話教室講師を務めてきた。取次ぐ相談員や手話教室講師を務めてきた。

対し37人が立候補した中、18位で当選した。

同市は手話による情報発信推進などを盛り込んだ「手話言語条例」を4月に施行。家根谷さんは同条例の検討委員会メンバーも務め、「聴覚障害者が手話と要約筆記で講演などを楽しめるよう情報格差を縮めたい」と話す。家族や支援者に祝福された家根谷さんは

「同じ障害のある人が政治の世界へ進む弾みになれば」。議場での手話通訳などが不可欠となり、市議会事務局は「家根谷さんと相談し、必要な支援を検討したい」としている。



手話を交えて初当選の喜びを表現する家根谷敦子さん(26日夜、明石市材木町)

今日お伝えしたいこと

1. 手話は、みんなに必要
2. 手話は、まちのため
3. 手話は、みんなで
4. 手話は、今　ここで

今日の流れ

一、明石市の取り組み

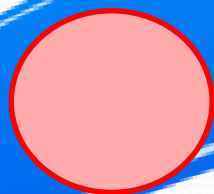
二、市長としての思い

三、手話市長会

一、明石市の取り組み

- ・手話言語・障害者コミュニケーション条例
- ・障害者配慮条例・合理的配慮の公的助成制度
- ・障害者団体の連携によるソーシャルアクション

誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた5つのSTEP



ステップ 5
誰もが
暮らしやすいまちへ



ステップ 4 合理的配慮への公的助成

ステップ 3 障害者差別解消条例の制定

ステップ 2 多様なコミュニケーションの促進

ステップ 1 手話言語の確立



明石市手話言語・障害者コミュニケーション条例

手話言語
条例

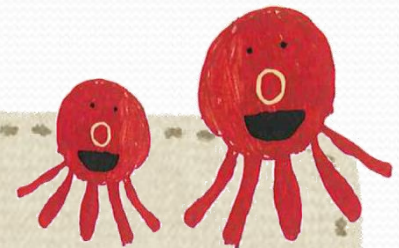


情報
コミュニケーション
条例

明石市の



手話言語・障害者
コミュニケーション条例



手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

1

手話を言語として認める

手話言語

- 手話が独自の言語であることを認めます。
- その上で、手話と手話への理解を広めていきます。



ステップ① 手話言語の確立

市内の全小学校で手話教室



ステップ① 手話言語の確立

職員の手話研修会



ステップ① 手話言語の確立

職員の手話検定受験を助成

(受験料・教材費・セミナー受講料を助成)

第12回 全国手話検定試験



6月12日(月)～8月13日(日)

資料請求 5月8日(月)～7月31日(月)

試してみませんか?あなたのコミュニケーション能力!

私も応援しています。

私たちは第11回全国手話検定試験を受けました。

「手話の持つ可能性は、
きっとあなたの世界を広げます」

熊本県立熊本豊学校高等部 手話落語部

(元から) 山口 翔さん 中村 美南海さん

徳永 強さん 坪井 誠さん(部長)

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 優勝

「第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に参加して、聴者もろう者も手話でコミュニケーションできる喜びを感じました。手話を学ぶことで、聴こえない人の気持ちを理解してもらえたらうれしいです。身ぶり手ぶりでも気持ちは伝わります。楽しくコミュニケーションしましょう。

手話をもっともっと広げること、みなさんといつか手話で話せる日が来ることを楽しみにしています。



「コミュニケーションの第一歩を!」

AZKA NAFISAHさん

日本に留学し、「手話は学校で学べるんだ」ということを聞いて驚きました。めったにない機会だと思い、手話通訳コースが設置されている専門学校に通うことになりました。手話を学び始めて半年後、3級を受けて合格し、翌年1級を受けてまた合格しました。試験に合格したものの、ろう者と実際にコミュニケーションを取るときは、なかなか出来ていない状態でした。教室内で学んでいた標準手話は必ずしも通じる訳ではないと気づき、他の非言語コミュニケーションも含みながら、意思疎通を図り、やっと「伝わった嬉しさ」を感じました。全国手話検定試験はろう者とのコミュニケーションや理解への第一歩となります。皆さんも、受験してみてはいかがでしょうか。



「19名全員合格!」

明石市役所

明石市役所では、手話言語・障害者コミュニケーション条例制定後、職員が全国手話検定試験を受験する際の受験支援を開始しました。様々な部署の職員が、庁内の手話サークルや手話研修に参加しており、地元ろうあ協会の皆さんとのコミュニケーションを通じて、楽しみながら窓口対応に活かせる手話を身につけることを目標に奮闘しています。

合格した職員は、翌年、さらに上の級を目指すなど意欲的です。こうしたチャレンジの輪が、全国に広がることを願っています。



「19名全員合格!」

明石市役所

明石市役所では、手話言語・障害者コミュニケーション条例制定後、職員が全国手話検定試験を受験する際の受験支援を開始しました。様々な部署の職員が、庁内の手話サークルや手話研修に参加しており、地元ろうあ協会の皆さんとのコミュニケーションを通じて、楽しみながら窓口対応に活かせる手話を身につけることを目標に奮闘しています。

合格した職員は、翌年、さらに上の級を目指すなど意欲的です。こうしたチャレンジの輪が、全国に広がることを願っています。



主催：社会福祉法人 全国手話研修センター 協賛：公益財団法人 一ツ橋総合財団 後援：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
協力：一般財団法人 全日本ろうあ連盟 一般社団法人 全国手話通訳問題研究会 一般社団法人 日本手話通訳士協会 手話を広める知事の会(予定) 全国手話言語市区長会
特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 認定NPO法人 障害者放送通信機構(旧名称：認定NPO法人 CS障害者放送統一機構)
一般社団法人 全日本聾聴者・中途失聴者団体連合会 全日本ろう学生懇談会

手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

2

いろいろな コミュニケーションの支援

情報
コミュニケーション

- コミュニケーション手段を
選べ、使えるようにしていきます。
(手話や要約筆記、点字、音訳など)
- 手話通訳者・要約筆記者・点訳者・
音訳者などを育てて増やしていきます。



ステップ② 情報・コミュニケーション保障

(1) ひと

手話通訳士2名を正規職員として採用

→手話通訳だけでなく、**政策立案**も担当

設置手話通訳者を4名採用（平成29年度～）

(2) 制度の充実

意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）
派遣事業の要綱改正（平成29年度～）

◎厚労省モデル要綱に合わせたもの

◎原則派遣範囲の制限なし

◎聴覚障害者だけでなく、健聴者も利用可

◎個人だけでなく、団体からの依頼も可

◎運営委員会の設置

ステップ② 情報・コミュニケーション保障

(2) 制度の充実

コミュニケーション施策推進協議会

障害者と意思疎通円滑に

手話や筆談 市など推進策議論

手話や点字、要約筆記などが必要な障害者との円滑な意思疎通を
「明石市手話言語等
手話や点字、要約筆記などが必要な障害者との円滑な意思疎通を
目指し、具体策を考え
「明石市手話言語等
同市は2015年、



障害者とのコミュニケーションについて議論した会合＝市民会館

「手話言語・障害者コミュニケーション」を制定。当事者の声を反映した施策推進を図るため、同年に協議会を立ち上げた。さらに昨年は障害者配慮条例を制定し、障害の有無にかかわらず、誰もが住みやすいまちづくりを目指している。
3回目となる会合には、関係団体の代表者や学識経験者ら約20人が参加した。市の担当者、配属条例に基づく点字メニュー作成や筆談ボード購入への助成、手話体験教室の実施状況などを説明。その後、知的、発達障害者とのコミュニケーションの難しさを課題に挙げたり、描かれた絵

を指さして意思疎通を図るボードが紹介されたりした。

出席者からは、聴覚障害者避難訓練で情報伝達が不十分だったことへの改善要望や、視覚障害者への支援に対する質問などがあった。
(藤井伸哉)

平成29年1月20日
神戸新聞

明石市障害者配慮条例

障害者に対する配慮を促進し
誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例

- ・ 障害者差別解消法に合わせて平成28年4月1日施行
- ・ 特徴は「合理的配慮の促進」
- ・ 条例名に「差別」を使わず
「配慮」「共生のまちづくり」を使用
- ・ 障害者差別に関する相談体制の整備
- ・ 障害者差別の解消を支援する地域協議会の設置

合理的配慮の提供を支援する助成制度について

明石市では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせる共生のまちづくりを推進していくために、事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成する。

1 制度を利用できる団体

- ① 事業者など民間の事業者
- ② 自治会など地域の団体
- ③ サークルなどの民間団体

2 助成の対象になるもの

合理的配慮が簡単に提供できるようにするためのもので、以下にあたるもの



コミュニケーション ツールの作成

点字メニュー
チラシの音訳
コミュニケーションボードなど



上限額 → 5万円

物品の購入

折りたたみ式スロープ
筆談ボードなど



上限額 → 10万円

工事の施工

簡易スロープや手すりなどの
工事の施工に
かかる費用

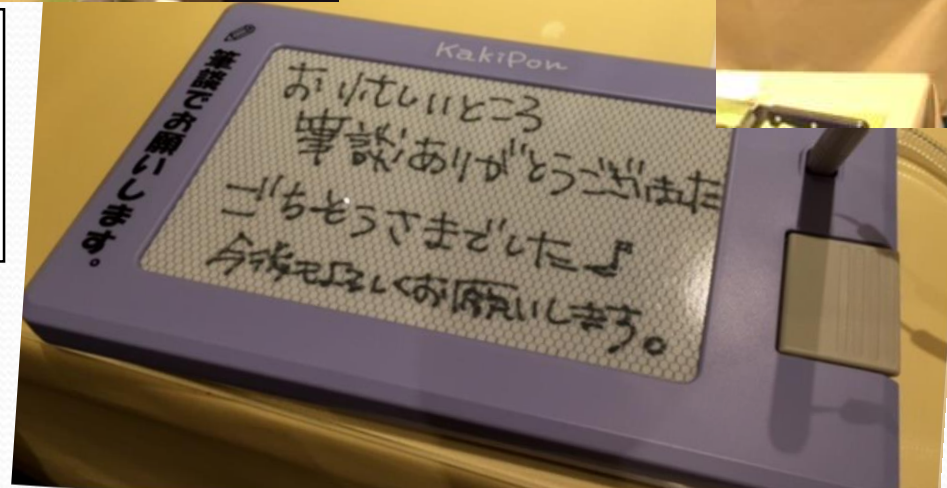


上限額 → 20万円

明石のまちが変わります

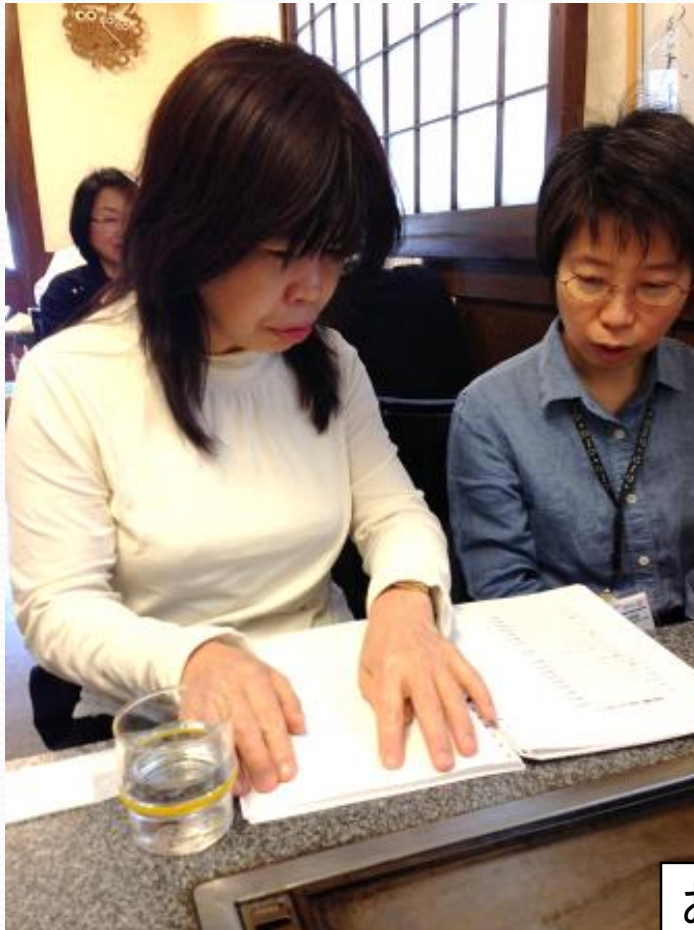


イタリアンレストランで
筆談ボードを利用して
料理の説明を受ける
聴覚障害者



ステップ④ 合理的配慮への公的助成

明石のまちが変わります

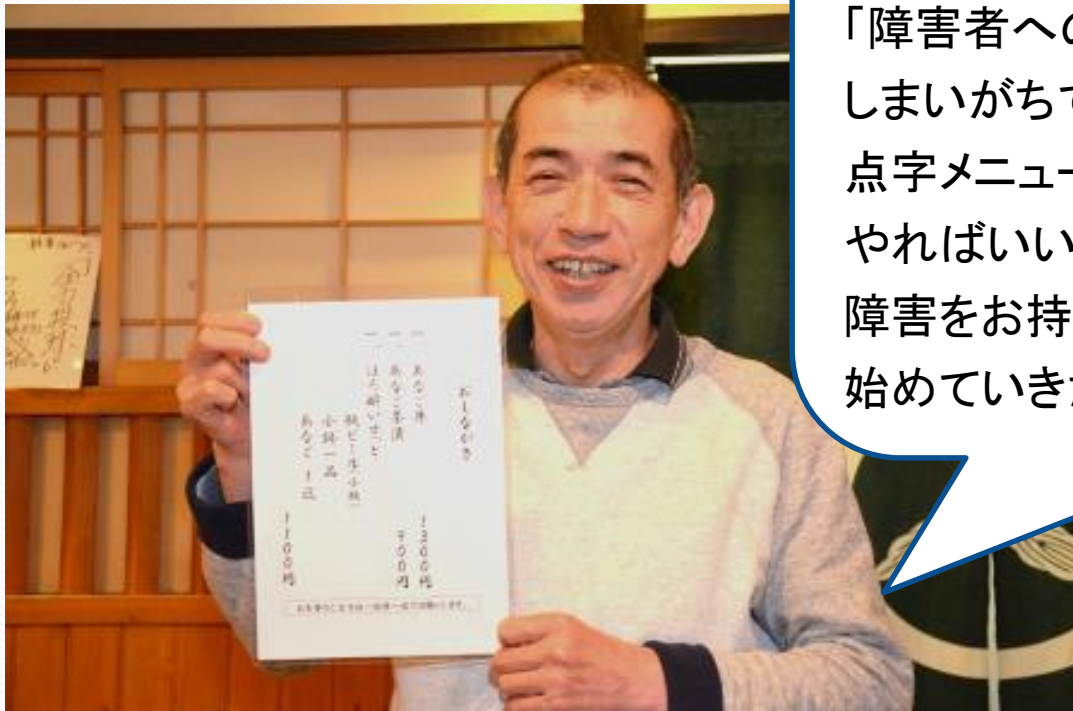


お好み焼き屋で点字メニューを読む
視覚障害者

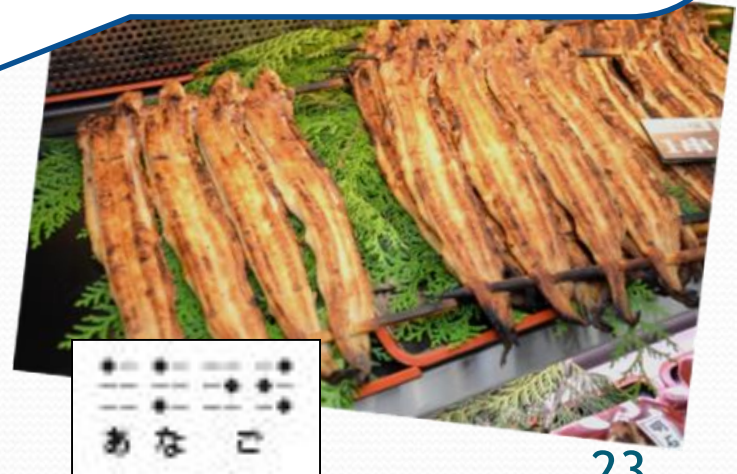
明石のまちが変わります

去年参加した条例検討会で、視覚障害のある人の声を直接聞くことができました。

「障害者への配慮」と聞くと難しいことと考えてしまいがちですが、例えば点字が読める人に点字メニューを用意するなど、できることをやればいいと気づきました。これからは、他の障害をお持ちの方に対しても、できる配慮から始めていきたいと思えます。



株式会社 林喜商店 代表取締役社長 林 祝雄さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

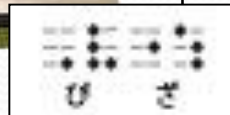


明石のまちが変わります

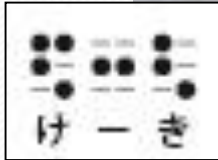
イタリアンレストランで、
点字メニューと筆談ボードを
導入しました。こういう取り組みが
増え、認知されていけばよいと
考えています。“食”を通して
人にやさしいまちになるよう、
飲食関係の輪を広げていきたい
ですね。



株式会社 キャッスルホテル料飲事業部 部長
東野 篤也さんとスタッフのみなさん
(筆談ボードと点字メニューを導入)



明石のまちが変わります



くるみや本店

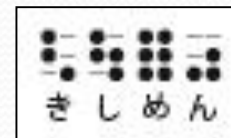
入口に折りたたみ式スロープを設置して
車イスもベビーカーも入りやすくなりました。

(筆談ボード・点字メニュー・
折りたたみ式スロープを導入)



明石のまちが変わります

以前から店には中国語や英語などの外国語メニューを置いていました。このたび、店に点字メニューの導入をすすめています。障害のある人もない人もおいしい物を同じように食べられるのは当たり前のことだと思います。



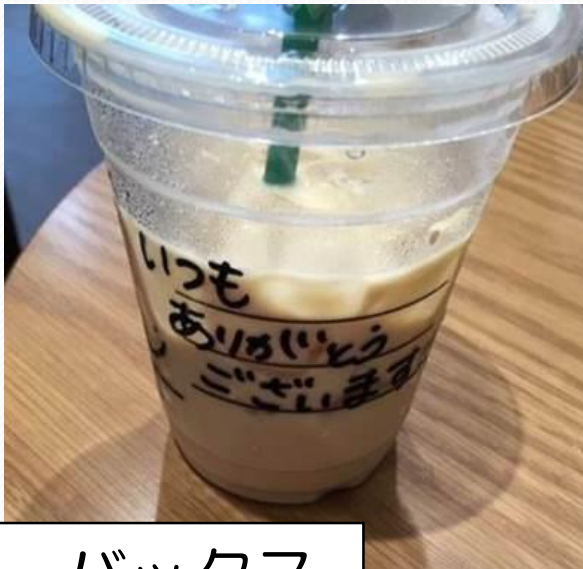
都きしめん
明石飲食業組合 組合長 宮内 正次さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

明石のまちが変わります



マクドナルドのカウンター

明石のまちが変わります



スターバックス



明石のまちが変わります



明石駅の観光案内所
タブレットで市役所とつないで遠隔手話通訳

明石のまちが変わります



大型書店のレジ

駅前再開発ビルと、明石駅構内のショッピングセンターは全店に筆談ボードを設置。文房具店のレジには障害者配慮条例のパンフレットも。

ホームドア設置の取り組み

平成28年9月 視覚障害者団体が明石市議会に
「明石市内の各駅にホームドアを設置する
働きかけを市と市議会に求める」請願を提出



- 9月28日 市議会で全会一致で請願を採択
JRに要望書を提出
- 10月7日 市に公共交通安全対策担当職員を配置
- 10月17日 市長、市議会議長らが国土交通大臣に要望書を提出
- 11月6日 市内の障害者団体が署名活動を開始
- 11月15日 「広報あかし」で「JR明石駅にホームドアを」特集
- 11月27日 市長、議長、商工会議所会頭、障害者団体が
JR西日本本社に要望書を提出

ホームドア設置の取り組み

新 戸 申 2016年(平成28年)12月28日 水曜日

目標超す1万1308人の署名 市民の後押しに感謝

駅のホームドア

JR明石駅などにホームドアの早期設置を求め、JR西日本に27日渡された1万1308人分の署名。提出した明石市障害者当事者等団体連絡協議会の松本幸雄代表(75)は「目標の5千人分を大きく上回った。市民の大きな後押しに感謝したい」と話した。

(社会面参照)



署名を手に明石市役所を出発する松本幸雄代表(右端)と浅生陽彦会長(石から3人目)ら。いずれも中崎1

同協議会は11月6日、同駅周辺で署名活動を開始。各障害者団体も個別に活動し、目標を大きく上回る署名を集めた。署名では、ホームドア設置完了までは、駅員に乗車までの安全な誘導や放送なども求めている。

この日は、同市視覚障害者福祉協会の浅生陽彦前向きな姿勢をみせた。一方で、昇降式の重みが何よりの説

同協議会は11月6日、同駅周辺で署名活動を開始。各障害者団体も個別に活動し、目標を大きく上回る署名を集めた。署名では、ホームドア設置完了までは、駅員に乗車までの安全な誘導や放送なども求めている。

この日は、同市視覚障害者福祉協会の浅生陽彦前向きな姿勢をみせた。一方で、昇降式の重みが何よりの説

晴彦会長(64)らがJR西本社(大阪市)を訪問。同様の要請書を提出した泉房穂市長、深山昌明市議会議長、平岡勝功明石商工会議所会頭らも同席した。

出席者はJR明石駅について、死亡事故の発生や視覚障害者の利用の多き、貨物列車の通過などの危険性を指摘。泉市長は、整備費など相応の負担をどう考えを示した上で、市制100年を迎える2019年度までの整備を要望した。市によると、JR側は「危険性は認識してくれているので期待したい」と話している。浅生会長は「署名の重みは、熱心に話を聞いてもらった。整備方式や時期については言及しなかった」と話して



JR西日本に提出した1万1308人分の署名



平成29年6月 JR明石駅へのホームドア設置決定

二、市長としての思い

①障害者が暮らしやすい社会をつくるのは
行政の責任

②できることを見つけて、実際に始める

③福祉の充実を、まちの発展につなげる

 全国に拡げる

①障害者が暮らしやすい社会をつくるのは行政の責任

手話通訳は誰のため？

市民みんなに必要

→手話言語を保障するのは行政の責任

=市長の責任

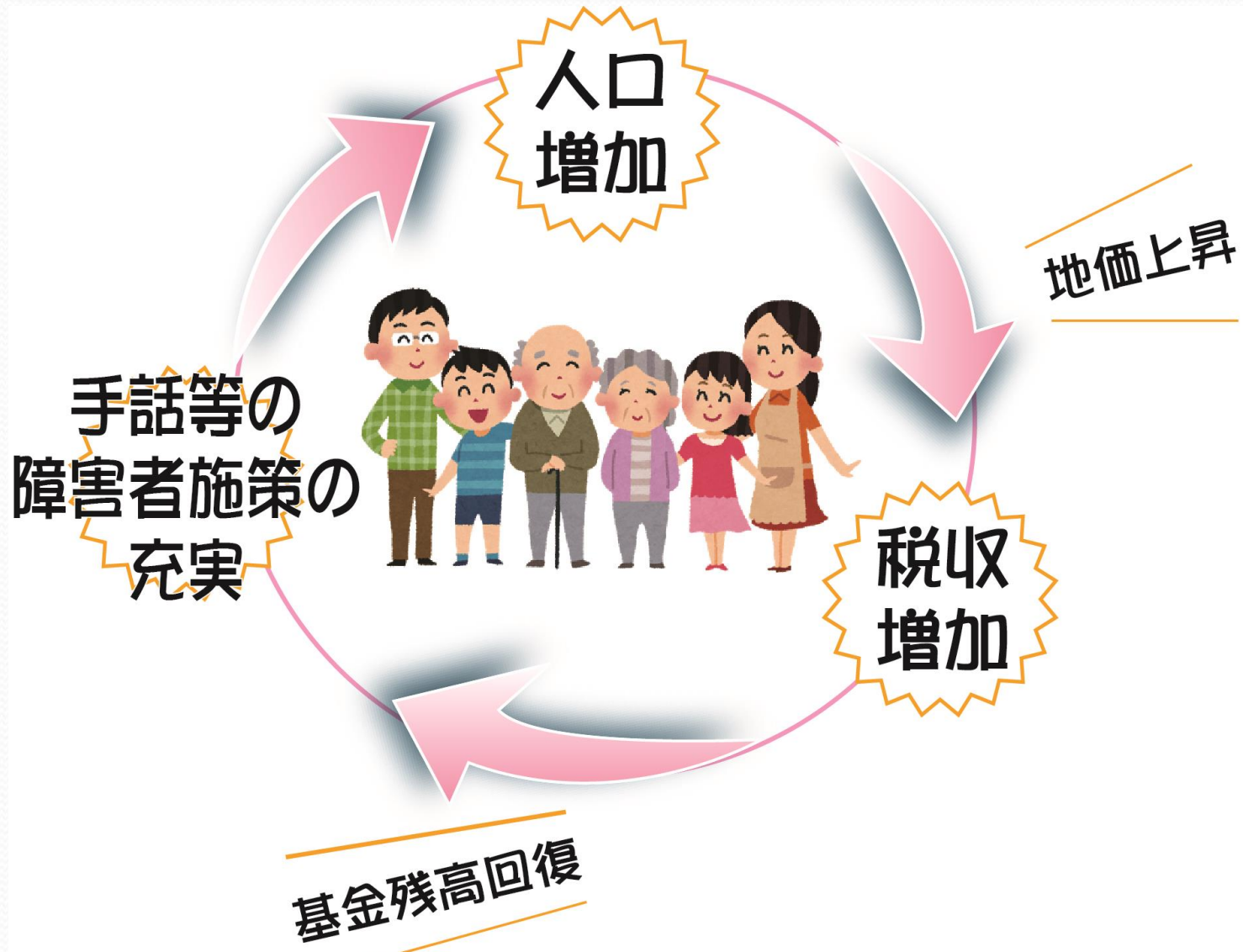
②できることを見つけて、実際に始める

(1) 条例 ①手話言語・障害者コミュニケーション条例
②明石市障害者配慮条例

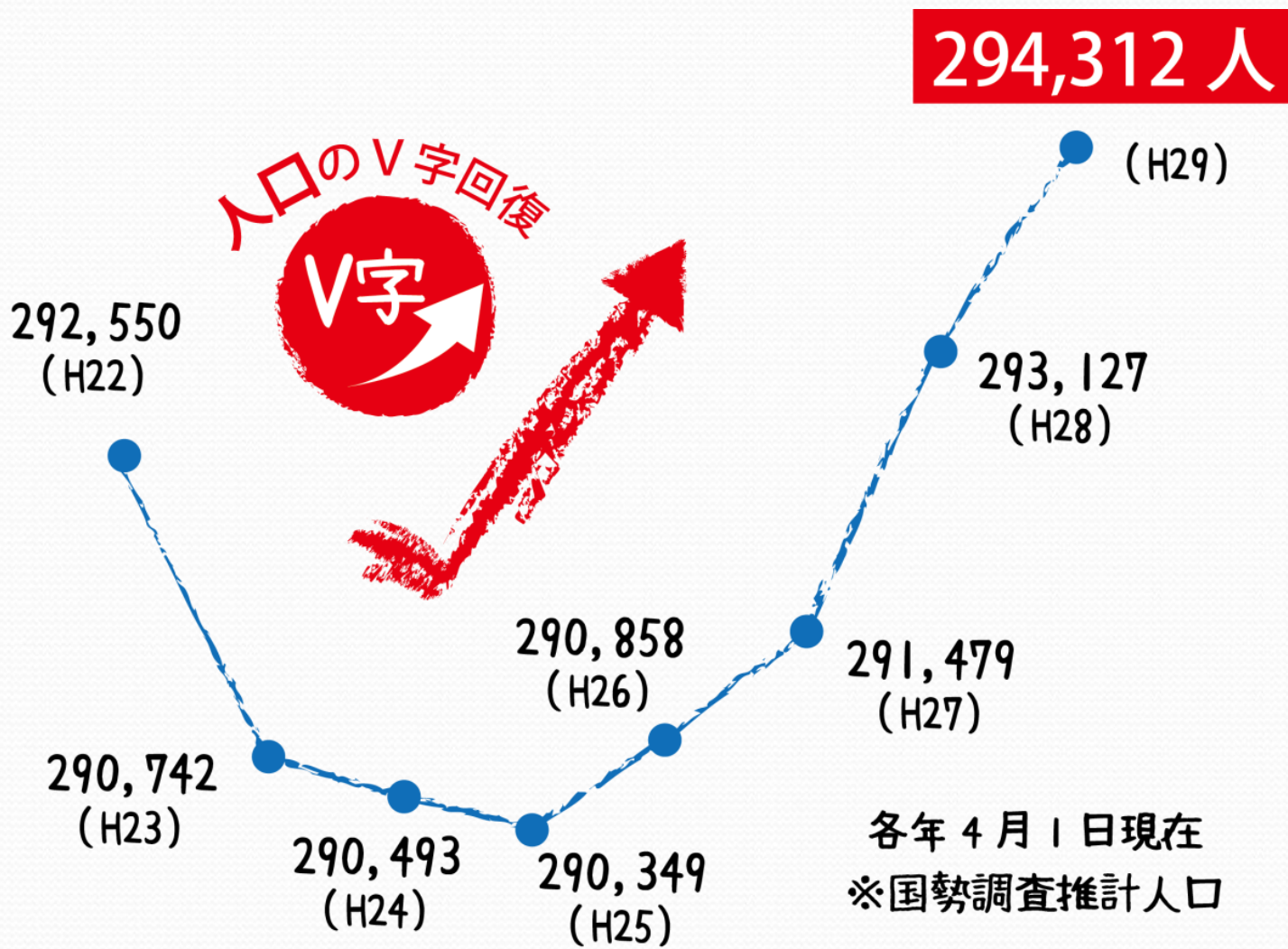
(2) 予算 公的助成制度

(3) ひと ①障害当事者の採用
②手話通訳士職員の採用

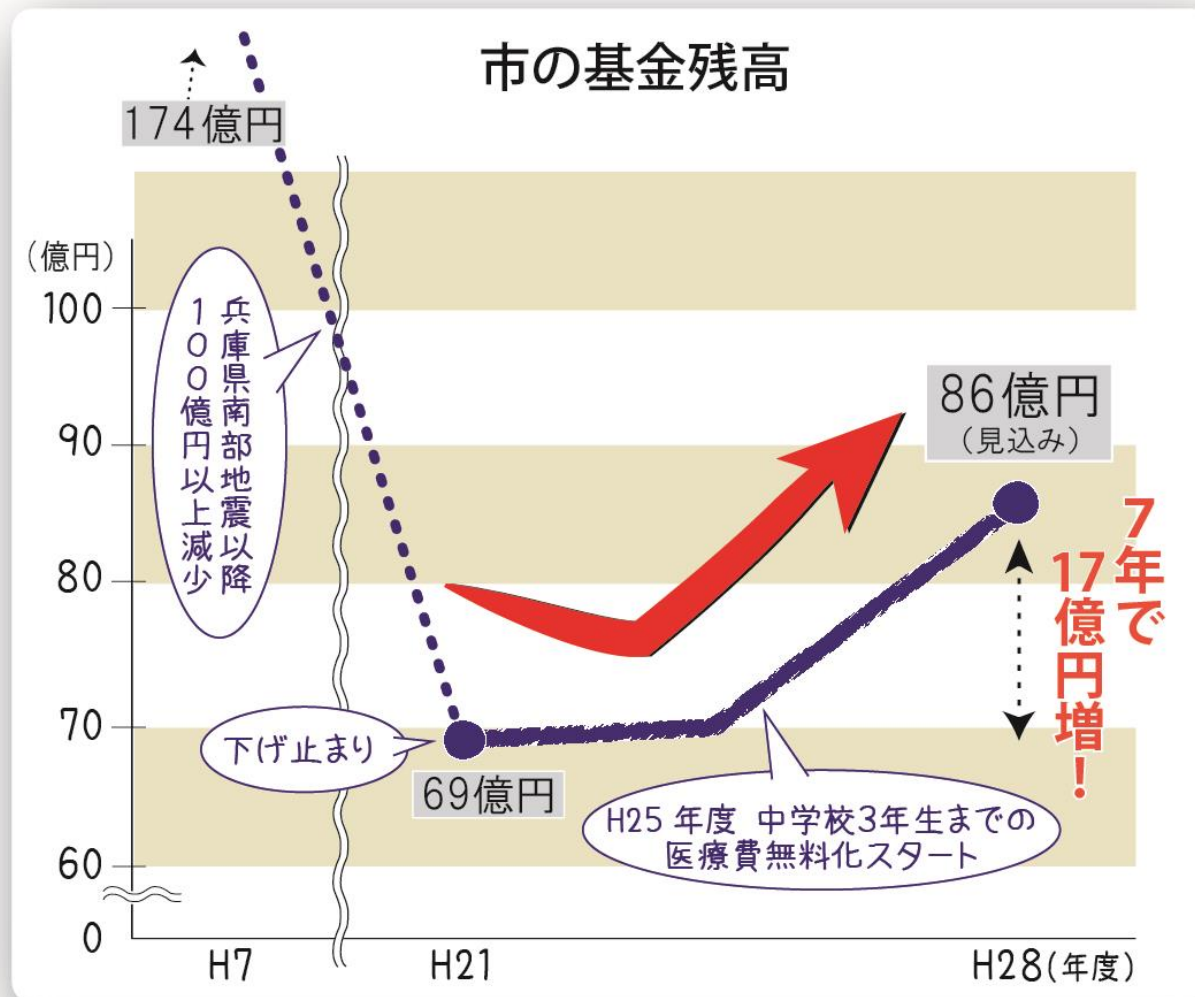
③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



三、手話市長会

設立目的

1. 法律の早期制定
 - ①「手話言語法」
 - ②「情報・コミュニケーション法」
2. 条例制定市の拡大
3. 手話関連施策の充実

役員

会 長	田岡 克介(石狩市長)
副会長	青山 剛(室蘭市長)
	品川 萬里(郡山市市長)
	星野 光弘(富士見市長)
	篠田 昭(新潟市長)
	鈴木 健一(伊勢市長)
	門川 大作(京都市市長)
	松浦 正敬(松江市市長)
	岡崎 誠也(高知市長)
	十屋 幸平(日向市長)
事務局長	泉 房穂(明石市長)

顧問 平井 伸治(鳥取県知事)
相談役 尾形 武寿(日本財団理事長)
相談役 石野 富志三郎
(全日本ろうあ連盟理事長)

協力団体

一般財団法人 全日本ろうあ連盟
一般社団法人 全国手話通訳問題研究会
一般社団法人 日本手話通訳士協会
社会福祉法人 全国手話研修センター
日本財団

設立総会・フォーラム 平成28年6月8日



参加者 **407** 名

平成29年度総会 平成29年6月7日



出席 **77** 市長

平成29年度総会 平成29年6月7日



内閣府・文部科学省・厚生労働省も出席

入会状況

350市区長

北海道	16	東京都	19	滋賀県	6	香川県	1
青森県	10	神奈川県	9	京都府	6	愛媛県	6
岩手県	3	新潟県	6	大阪府	18	高知県	9
宮城県	3	富山県	6	兵庫県	25	福岡県	6
秋田県	5	石川県	6	奈良県	3	佐賀県	5
山形県	11	福井県	1	和歌山県	3	長崎県	12
福島県	7	山梨県	6	鳥取県	4	熊本県	3
茨城県	6	長野県	6	島根県	4	大分県	6
栃木県	7	岐阜県	4	岡山県	5	宮崎県	3
群馬県	9	静岡県	9	広島県	2	鹿児島県	9
埼玉県	12	愛知県	7	山口県	8	沖縄県	7
千葉県	19	三重県	8	徳島県	4		

全国手話言語市区長会 事業計画

- 自治体職員向けの手話研修会の実施
- 手話に関する啓発行事(手話劇祭の開催)
- 会員同士の情報交換・共有
- 総会・フォーラムの開催 等

終わりに...

社会の「あたりまえ」を変える

聴覚障害者も暮らしやすくなるように、

社会全体の「あたりまえ」を

変えていきましょう！

「手話を世の光に」

ともに頑張りましょう！